



私たち塩津地区には、自慢できるものがたくさんありますが、そのうちの一端を紹介しましょう。

まず拾石川です。自分たちの住む町は自分たちで守り育てようとする「未来塾」や地元有志らなるグループの力で、人間はもちろん魚や鳥たちにとっても憩いの場に変わったことです。川沿いには桜が植えられ、川の中ではカモやサギが気持ち良さそうに水遊びをしています。5月にはこいのぼりが泳ぎ、6月にはアジサイが咲き、四季折々川辺の



こいのぼりの泳ぐ拾石川

散歩が楽しめます。川の清掃・草刈作業は年間を通して自分たちの手で行っています。

また「尺

地川ほたるの会」も地元有志が集まり、今では蛍が生息するまでに



尺地川の清掃活動

なり、6月には幻想的な世界へと誘います。全員で清掃整備をし、来年もたくさん

の蛍が見られるようにと子どもたちにも呼びかけ、輪を広げる活動をしています。

また、長年にわたり、子どもたちを交通事故や不審者から守るため、登下校中の小学生を見守り一緒に歩いています。大人との温かいふれあいが成長の過程でプラスになり、大人になつてからもこの絆が生き続けることでしょう。

ほかに、伝統文化の伝承や施設の子へ無償の愛情を注ぐなど、自らがふるさとを守り愛して活動している方はたくさんいます。さらに大人から子どもたちへと絆ができ、人づくり、町づくりへと自ら実践し、活動の輪が広がっていくことを期待しています。

がまごおり

若者サポートステーション

鈴木康生

☎67♦3201

サポートステーションが開所して4年目を迎えています。『仕事をしたい、自分を変えたい』…けどどうすればよいかわからない、何かきっかけが欲しい』など、さまざまな理由で訪れる若者がいます。運営側としては、彼らと時間を共有できる空間を作り出し、彼らがいつでも立ち寄れる施設としてありたいと願っています。思いを他人に打ち明けて心が整理され、軽くなり自ら行動できる力をつけて欲しいと思います。しかし、こちらの思いだけではそのような空間はできません。今回は若者がサポステへ来所する・しない両方の理由を聞いてみました。

【来る理由】自分以外の意見を聴きたい、他人と関わりたい・情報交換をしたい。最近では、閉館時間まで会話が聞こえて、楽しそう

な雰囲気です。またボランティア参加や福寿稲荷ごりやく市など、イベントのある時という声もありました。先日のごりやく市では人形劇を演じきり、みんな良い顔をしていました。仕事に向けて動く時はPC教室や就職相談などを使うためというのもありました。なんとなく、というの嬉しいです。

【来ない理由】遠い、天候が悪いなど…、ただもつと何かあるに違いない。サポステに来れない人もいます。私たちの力で及ばない部分も多々あると思います。

★サポステからのお知らせ

名 称	と き
就労支援セミナー	1月25日(火) 2月10日(木) 2月23日(水) 各午後1時～2時
親の集い・勉強会	1月30日(日) 2月27日(日) 各午後1時～3時

☆学習支援事業(無業者対象)も行っています。詳しくは、サポステへお問い合わせください。